

特別講演 2

「日常診療における痛みのマネジメント

～鎮痛薬をいかに安全かつ有効に使うか？～

医療法人社団関遼会 仙台ペインクリニック石巻分院 院長

川井 康嗣 先生

日常診療において最も高頻度に診療する機会があるのは腰痛や関節痛のような運動器の痛みです。従来は非ステロイド消炎鎮痛薬が処方薬の中心でありましたが、現在多くの薬剤が発売され、各薬剤を安全かつ有効に処方する方法に関心が高まっています。またアセトアミノフェンのような従来からある鎮痛薬も見直されるようになってきました。本日は、日常診療で診療する痛みに対して、どのように処方するのが理想的かについて考えてみます。

痛みの部位や疾患との関連、有効な処方のポイント、安全な処方のための工夫、などについても併せてお話致します。特に神経障害性疼痛に対する薬剤や弱オピオイドなどの有効性と問題点について解説致します。現在、東日本大震災の最大の被災地である石巻・東松島地区で無床診療所として臨床に従事していますが、比較的シンプルな処方で患者の鎮痛と QOL 改善に十分貢献できるのではないかと感じています。